

～「フードドライブ」に向けた取り組み～

(秋田県秋田市農業委員会)

1. 農業委員会の概要

- 農業委員: 19名(うち女性2名)
- 農地利用最適化推進委員: 29名(うち女性0名)

2. 取り組みのきっかけ

● 農業委員会活動の見える化や女性委員の存在意義を高めるためことや、社会貢献の一環として令和3年度の第17回秋田県農業委員会女性協議会総会において「フードドライブ」に向けた取組が呼びかけられ、県内農業委員会で実践されている(別添:秋田県農業委員会女性協議会だより第7号参照)

3. 具体的な取り組みの内容

● 秋田市農業委員会では、女性農業委員2名が中心となり食品ロスを減らし、支援が必要な人へ食品を届けることを目的としたフードドライブ活動を始めた。県内の生活困窮者等への食料支援を行う(一社)フードバンクあきた(林多実 代表理事)の活動に協力し、2022年1月より2カ月に1度のペースで米などを提供している。農業委員会内で食品を提供する区域についてローテーションし、女性農業委員が取りまとめ、(一社)フードバンクあきたに届ける。

● 柴田委員はこの活動について「林さんから活動について伺い、重要性を実感しました。私たち生産者が出来ることは食品を提供することですが、その受け皿となるフードバンクの活動が継続できるような支援も検討していきたいと思います」と意気込みを語る。(写真:左から柴田ますみ委員、林代表理事、星容子委員)

